

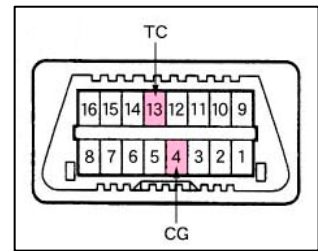
ECB ブレーキフルード交換作業(特殊工具を使用しない)

合理的なZVW30-ECBのブレーキフルード交換作業です。

- ・リザーバタンクのブレーキフルードはスポイトで交換しておく。
- ・作業後に警告灯が点灯する時は、異常コードを消去する。
消去作業: バッテリーを外しても消去できないコードがあります。
(重要部位の故障は点灯したままとなる)

診断コネクタTCとCGを短絡して、IG・ONでブレーキ・ペダルを5秒間に8回以上踏むと消去される。

- ・注意: この作業方法はメーカー指定に準じていますが、自己の責任において作業して下さい。



ブレーキフルード交換作業

1. ブレーキ制御禁止モード移行操作(以下の手順を、1分以内に行う。)
 - ① パーキングブレーキが作用していることを確認し、シフトポジションPでIG ONする
 - ② シフトポジションNで、ブレーキペダルの踏み込み開放を5秒以内に8回以上行う
 - ③ シフトポジションPで、ブレーキペダルの踏み込み開放を5秒以内に8回以上行う
 - ④ シフトポジションNで、ブレーキペダルの踏み込み開放を5秒以内に8回以上行う
 - ⑤ シフトポジションPにする
2. 電子制御ブレーキウォーニングランプが点滅することを確認する。

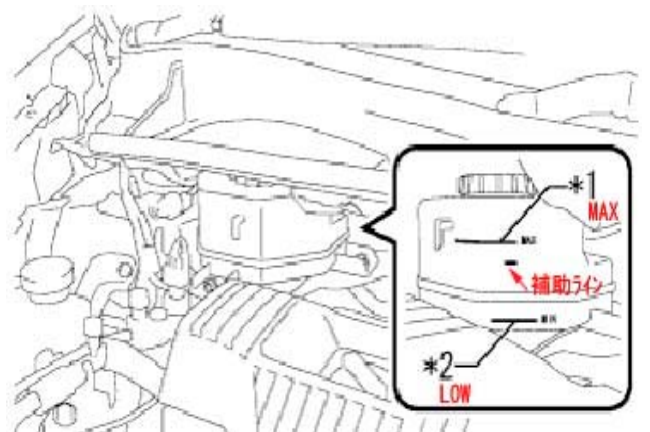


3. ブレーキペダルをペダリングし、フロント・ブレーキシリンダのブリーダ・プラグからフルード抜き取りを行う。(左右実施)
4. ブレーキペダルを踏込んだ状態でリヤ・ブレーキシリンダのブリーダ・プラグをゆるめ、ペダルを保持した状態でポンプ駆動中にフルード抜き取りを行う。(左右実施)
5. IG OFF、ブレーキ制御禁止モードを終了する。

アキュムレータ 0ダウン作業

アキュムレータやアクチュエータなどのブレーキ部品を脱着する時は、配管内が高圧であり危険です。その為、0ダウンを行いアキュムレータ内のフルードをリザーバに戻します。

1. IG OFFで、運転席ドアは開けたままにする。
2. STOPランプ・ヒューズを取外します。
(助手席の左側面)
3. ペダルを40回以上踏んで、アキュムレータ内のフルードをすべてリザーバへ戻します。
--- 脱着作業実施 ---
4. アキュムレータ 0ダウン後、フルード液面がMAXレベルになるようにフルード量を調整する。
5. ポンプ作動停止後は、リザーバのフルード液面がリザーバの補助ラインになる様にフルード量を調整する。



参考資料

ダイアグノーシス・コードの消去作業用ツール



自己診断トリガー(日本ベンチャー)

